

様式2

1. 健康寿命の延伸・健康格差の縮小

1 指標の状況

策定時の値と直近値を比較	項目数
a 改善している	2
b 変わらない	
c 悪化している	
d 設定した指標又は把握方法が異なるため 評価困難	

- 2016年(平成28年)の健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)は、2010年(平成22年)と比較して男性で1.72年、女性で1.17年増加した。
- 同期間における平均寿命は、男性で1.43年(79.55年→80.98年)、女性で0.84年(86.30年→87.14年)増加したことから、健康寿命の増加分は平均寿命のそれを上回っており、現時点で目標は達成されていると言える。
- 健康寿命の都道府県格差を最も長い県と短い県の差で見ると、男女ともに縮小傾向である。
- しかし、単純に最も長い県と短い県の差のみでは全都道府県間の格差の縮小に関する分析は十分ではなく、47都道府県間のバラツキの大きさを標準偏差(都道府県差の標準偏差)で表すことで、都道府県格差の指標(地域格差指標)となると考える。厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」(研究代表者：辻一郎)において上記の地域格差指標を計算したところ、2010、2013、2016年(平成22、25、28年)それぞれ、男性は0.58、0.47、0.37年(片側トレンド $p=0.001$)で都道府県格差は有意に縮小したが、女性では0.65、0.61、0.53年(片側トレンド $p=0.083$)で有意な縮小ではなかった。

2 関連した取組

- 健康寿命の全国値と都道府県値は、国民生活基礎調査(3年ごとに実施される大規模調査)の質問票に対する回答をもとに、厚生労働科学研究「健康

寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」(研究代表者：辻一郎)において計算されている。これまでに 2013・2016 年(平成 25・28 年)の国民生活基礎調査のデータを用い算出した健康寿命の値(全国、各都道府県)を公表した。

- 自治体が健康寿命を算定することを技術支援するため、研究班の研究成果として、健康寿命の算定方針、算定プログラム等を WEB サイト上に公表している。(2012 年(平成 24 年)9 月～ <http://toukei.umin.jp/kenkoujyummyou/>)
- 35 都道府県において管内市町村の健康寿命を把握している。(2014～2016 年(平成 26～平成 28 年) 厚生労働省健康局健康課による調査)
- 都道府県における健康格差対策への取組の実施状況
 - ①市町村の健康に関する指標や生活習慣の状況の格差の実態を把握；46 都道府県
 - ②その縮小に向けた対策を検討；42 都道府県
 - ③その検討結果に基づき格差の縮小に向けた対策を実施；40 都道府県(2014～2016 年(平成 26～平成 28 年) 厚生労働省健康局健康課による調査)
- なお、健康寿命の延伸や健康格差の縮小に関し、国レベルの戦略等において以下のような様々な動きがある。

〔政府全体の動き〕

- ・日本再興戦略 2016 (平成 28 年 6 月閣議決定)
- ・健康・医療戦略 (平成 26 年 7 月閣議決定)
- ・ニッポン一億総活躍プラン (平成 28 年 6 月閣議決定)

〔省内等の動き〕

- ・保健医療 2035 提言書 (平成 27 年 6 月「保健医療 2035」策定懇談会)

〔民間主導の活動体による取組〕

- ・日本健康会議 (平成 27 年 7 月発足)

3 今後の課題

- 現状では、生活習慣・健診成績・疾病などの要因(健康日本 21 (第 2 次)での取組み課題)のそれぞれが、健康寿命にどの程度の影響を及ぼしているかに関する定量的なデータが乏しい。今後、これらの調査研究を行うことにより、健康寿命の延伸・格差の縮小に向けた戦略を構築する必要がある。

健康寿命の算定結果の概要：全国の推移

1. はじめに

健康寿命について、全国と都道府県における 2010・2013・2016 年の推定値と推移を検討した。健康寿命の指標ごとに、下記の 3 ファイルに結果表（算定方法の概要を含む）を示した。

『健康寿命_算定結果 A-全国と都道府県の推移_tab.xlsx』

：「日常生活に制限のない期間の平均」の結果表

『健康寿命_算定結果 B-全国と都道府県の推移_tab.xlsx』

：「自分が健康であると自覚している期間の平均」の結果表

『健康寿命_算定結果 C-全国と都道府県の推移_tab.xlsx』

：「日常生活動作が自立している期間の平均」の結果表

以下、『健康寿命_算定結果 A-全国と都道府県の推移.xlsx』の結果表に基づいて、「日常生活に制限のない期間の平均」の結果の概要を述べる。

なお、「日常生活に制限のない期間の平均」の算定の基礎資料として、健康情報に国民生活基礎調査を、死亡情報に人口動態統計を用いた。2016 年の国民生活基礎調査が熊本地震により熊本県を調査していないため、2016 年の全国の同指標では熊本県を除く全国の健康情報と熊本県を含む全国の死亡情報を用いた。熊本県では 2016 年の同指標を算定せず、また、年次推移を検討しなかった。

2. 全国の「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限のある期間の平均」

「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限のある期間の平均」について、男性と女性別、2010・2013・2016 年の全国の推定値と 95%信頼区間を『結果表の表 1-1』に、同期間の傾きと 10 年の変化と 90%信頼区間、片側 p 値を『結果表の表 1-2』に示す。また、男性と女性の全国の推定値の推移を図 1 と図 2 に示す。

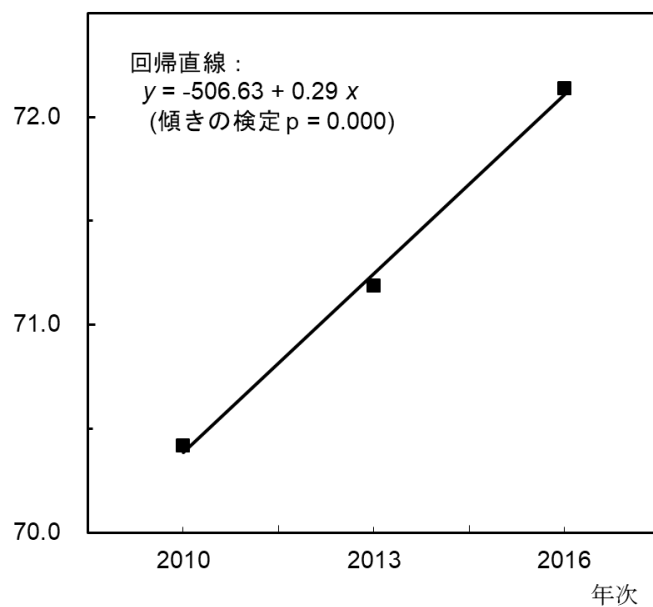
「日常生活に制限のない期間の平均」の 2010・2013・2016 年はそれぞれ、男性で 70.42、71.19、72.14 年、女性で 73.62、74.21、74.79 年であった。男女とも有意（上側の片側検定で有意水準 5%）に延伸し、10 年間の変化は男性で 2.87 年、女性で 1.95 年の延伸と推定された。

「日常生活に制限のある期間の平均」の 2010・2013・2016 年はそれぞれ、男性で 9.22、9.01、8.84 年、女性で 12.77、12.40、12.34 年であった。男女とも有意（下側の片側検定で有意水準 5%）に短縮し、10 年間の変化は男性で 0.63 年、女性で 0.71 年の短縮と推定された。この有意な短縮結果によって、2010～2016 年の「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」の目標は、男女とも達成と判定された。

「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限のある期間の平均」について、基礎資料の利用状況別の全国の推定値を『結果表の表 1-参考』に示す。2010・2013・2016 年の全国の推定値において、健康情報が熊本県を含む／含まない、死亡情報が熊本県を含む／含まないの組み合わせの間の差は、いずれも 0.01 年以内であった。

図1. 「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限のある期間の平均」の推移
: 2010・2013・2016年、男性

(年) 「日常生活に制限のない期間の平均」、男性



(年) 「日常生活に制限のある期間の平均」、男性

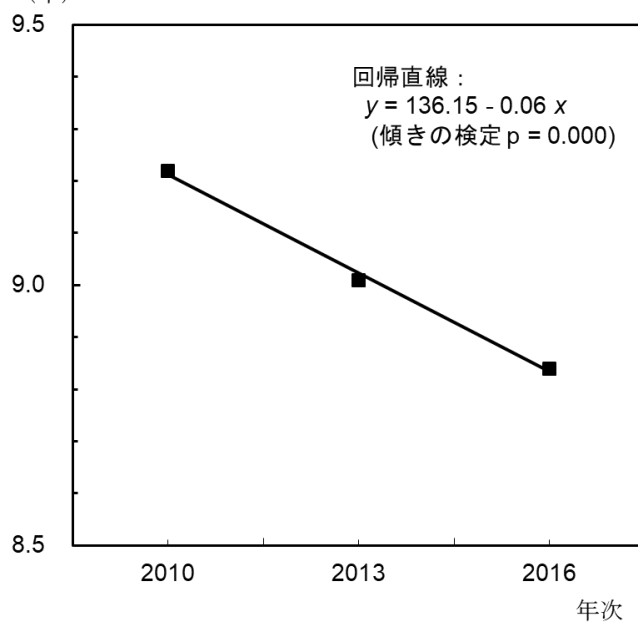
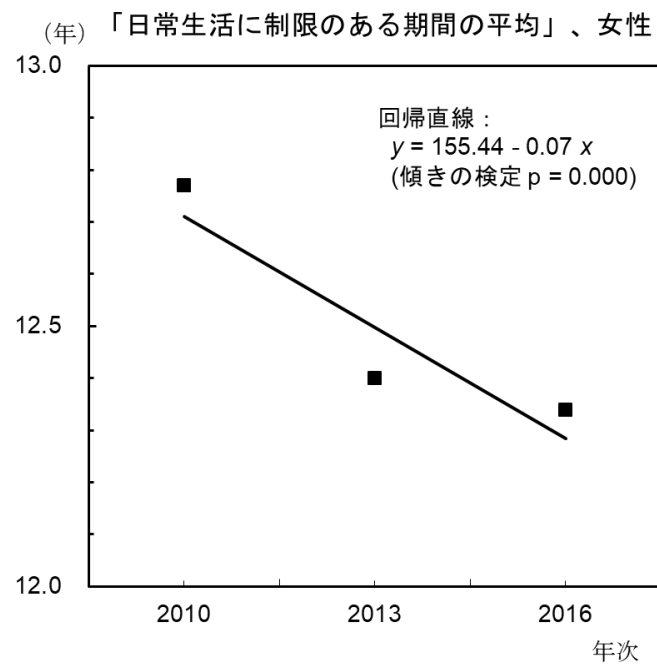
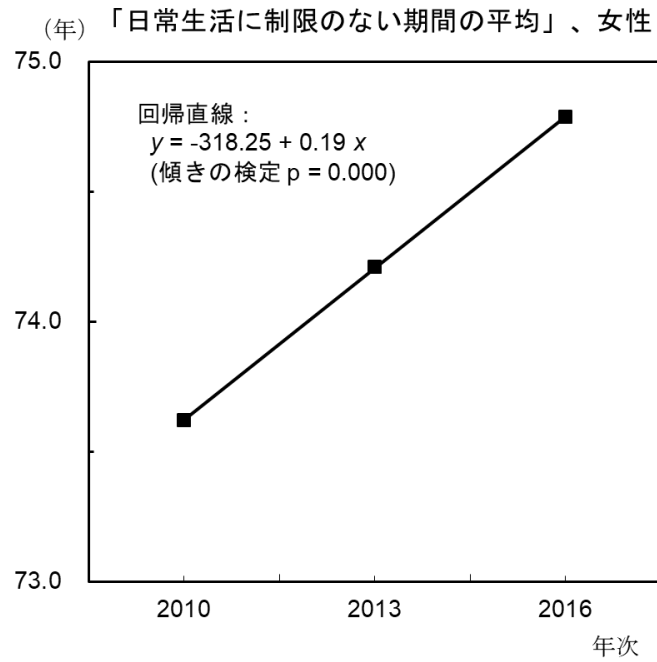


図2. 「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限のある期間の平均」の推移
: 2010・2013・2016年、女性



「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限のある期間の平均」

表1-1

: 2010・2013・2016年における全国の推定値と信頼区間

性別	年次	日常生活に制限のない期間の平均（年）			日常生活に制限のある期間の平均（年）			前2者の合計：平均寿命（年）		
		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間	
男性	2010	70.42	70.28	70.55	9.22	9.08	9.35	79.64	79.60	79.67
	2013	71.19	71.07	71.32	9.01	8.89	9.14	80.21	80.18	80.24
	2016	72.14	72.01	72.27	8.84	8.71	8.96	80.98	80.95	81.01
女性	2010	73.62	73.46	73.77	12.77	12.62	12.92	86.39	86.36	86.42
	2013	74.21	74.07	74.35	12.40	12.27	12.54	86.61	86.58	86.64
	2016	74.79	74.65	74.94	12.34	12.20	12.49	87.14	87.11	87.16

基礎資料として、健康情報は国民生活基礎調査を、死亡情報は人口動態統計を用いた。

2016年の健康情報は、国民生活基礎調査が熊本地震により熊本県を調査していないため、熊本県を除く全国のものを用いた。

表2-1-1 「日常生活に制限のない期間の平均」、男性
 : 2010・2013・2016年における都道府県の推定値と信頼区間

表1-2

都道府県 番号	都道府県	2010年			2013年			2016年			2010, 2013, 2016年の平均		
		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間	
1	北海道	70.03	69.23	70.82	71.11	70.45	71.78	71.98	71.29	72.68	71.04	70.62	71.46
2	青森	68.95	68.22	69.68	70.29	69.68	70.90	71.64	71.00	72.27	70.29	69.91	70.67
3	岩手	69.43	68.70	70.16	70.68	70.00	71.36	71.85	71.16	72.54	70.65	70.25	71.06
4	宮城	70.40	69.71	71.08	71.99	71.40	72.57	72.39	71.79	72.99	71.59	71.23	71.95
5	秋田	70.46	69.75	71.17	70.71	70.06	71.36	71.21	70.54	71.87	70.79	70.40	71.18
6	山形	70.78	70.10	71.47	71.34	70.69	71.98	72.61	71.93	73.29	71.58	71.19	71.96
7	福島	69.97	69.25	70.68	70.67	70.03	71.30	71.54	70.89	72.19	70.73	70.34	71.11
8	茨城	71.32	70.63	72.00	71.66	71.03	72.29	72.50	71.85	73.15	71.83	71.45	72.21
9	栃木	70.73	70.04	71.42	71.17	70.53	71.82	72.12	71.45	72.79	71.34	70.95	71.73
10	群馬	71.07	70.37	71.78	71.64	71.00	72.29	72.07	71.40	72.73	71.59	71.21	71.98
11	埼玉	70.67	69.91	71.42	71.39	70.71	72.07	73.10	72.44	73.75	71.72	71.32	72.12
12	千葉	71.62	70.73	72.51	71.80	71.04	72.56	72.37	71.59	73.14	71.93	71.46	72.40
13	東京	69.99	69.34	70.64	70.76	70.14	71.39	72.00	71.38	72.62	70.92	70.55	71.28
14	神奈川	70.90	70.23	71.57	71.57	70.97	72.18	72.30	71.72	72.88	71.59	71.23	71.95
15	新潟	69.91	69.25	70.57	71.47	70.90	72.03	72.45	71.88	73.03	71.28	70.93	71.62
16	富山	70.63	69.91	71.34	70.95	70.25	71.65	72.58	71.91	73.24	71.39	70.99	71.79
17	石川	71.10	70.29	71.92	72.02	71.29	72.75	72.67	71.98	73.36	71.93	71.50	72.36
18	福井	71.11	70.33	71.88	71.97	71.26	72.68	72.45	71.76	73.14	71.84	71.42	72.26
19	山梨	71.20	70.46	71.93	72.52	71.79	73.26	73.21	72.46	73.96	72.31	71.88	72.74
20	長野	71.17	70.45	71.90	71.45	70.75	72.16	72.11	71.40	72.82	71.58	71.16	71.99
21	岐阜	70.89	70.17	71.60	71.44	70.78	72.10	72.89	72.26	73.53	71.74	71.35	72.13
22	静岡	71.68	71.09	72.28	72.13	71.61	72.66	72.63	72.07	73.19	72.15	71.82	72.47
23	愛知	71.74	71.11	72.37	71.65	71.05	72.25	73.06	72.45	73.66	72.15	71.80	72.50
24	三重	70.73	69.98	71.48	71.68	71.00	72.37	71.79	71.06	72.51	71.40	70.98	71.82
25	滋賀	70.67	69.87	71.48	70.95	70.20	71.71	72.30	71.54	73.05	71.31	70.86	71.75
26	京都	70.40	69.57	71.23	70.21	69.45	70.98	71.85	71.02	72.67	70.82	70.35	71.29
27	大阪	69.39	68.71	70.07	70.46	69.84	71.08	71.50	70.93	72.08	70.45	70.09	70.81
28	兵庫	69.95	69.24	70.67	70.62	69.97	71.27	72.08	71.47	72.68	70.88	70.50	71.26
29	奈良	70.38	69.53	71.23	71.04	70.25	71.83	71.39	70.56	72.23	70.94	70.46	71.41
30	和歌山	70.41	69.66	71.16	71.43	70.66	72.19	71.36	70.61	72.11	71.07	70.63	71.50
31	鳥取	70.04	69.24	70.85	70.87	70.11	71.62	71.69	70.95	72.43	70.87	70.42	71.31
32	島根	70.45	69.69	71.21	70.97	70.25	71.68	71.71	70.95	72.47	71.04	70.61	71.47
33	岡山	69.66	68.91	70.40	71.10	70.42	71.79	71.54	70.88	72.20	70.77	70.36	71.17
34	広島	70.22	69.44	71.01	70.93	70.25	71.61	71.97	71.26	72.68	71.04	70.62	71.46
35	山口	70.47	69.71	71.24	71.09	70.35	71.82	72.18	71.47	72.88	71.25	70.82	71.67
36	徳島	69.90	69.10	70.71	69.85	69.04	70.65	71.34	70.59	72.10	70.36	69.91	70.82
37	香川	69.86	69.09	70.64	70.72	69.99	71.45	72.37	71.69	73.05	70.98	70.56	71.40
38	愛媛	69.63	68.88	70.38	70.77	70.08	71.47	71.33	70.60	72.06	70.58	70.16	71.00
39	高知	69.12	68.27	69.97	69.99	69.20	70.78	71.37	70.50	72.24	70.16	69.68	70.64
40	福岡	69.67	69.02	70.32	70.85	70.24	71.47	71.49	70.87	72.11	70.67	70.31	71.03
41	佐賀	70.34	69.61	71.06	71.15	70.42	71.87	71.60	70.88	72.32	71.03	70.61	71.45
42	長崎	69.14	68.38	69.91	71.03	70.36	71.70	71.83	71.14	72.53	70.67	70.26	71.08
43	熊本	70.58	69.82	71.33	71.75	71.08	72.43				71.68	71.16	72.20
44	大分	69.85	69.00	70.70	71.56	70.82	72.30	71.54	70.77	72.30	70.98	70.53	71.44
45	宮崎	71.06	70.25	71.87	71.75	71.07	72.44	72.05	71.37	72.73	71.62	71.20	72.04
46	鹿児島	71.14	70.40	71.89	71.58	70.89	72.27	72.31	71.56	73.07	71.68	71.25	72.10
47	沖縄	70.81	69.96	71.66	72.14	71.43	72.84	71.98	71.20	72.76	71.64	71.19	72.09

基礎資料として、健康情報は国民生活基礎調査を、死亡情報は人口動態統計を用いた。

2016年の健康情報は、国民生活基礎調査が熊本地震により熊本県を調査していないため、熊本県が含まれていない。

(2010, 2013, 2016年の平均のために算出した熊本県の2016年の推定値)
 = (熊本県の2013年の推定値) × (全国の2016年の推定値 : 72.14) / (全国の2013年の推定値 : 71.19)

表2-1-2 「日常生活に制限のない期間の平均」、女性
 : 2010・2013・2016年における都道府県の推定値と信頼区間

表1-3

都道府県 番号	都道府県	2010年			2013年			2016年			2010, 2013, 2016年の平均		
		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間	
1	北海道	73.19	72.30	74.09	74.39	73.62	75.16	73.77	72.97	74.57	73.78	73.31	74.26
2	青森	73.34	72.54	74.14	74.64	73.98	75.30	75.14	74.45	75.82	74.37	73.96	74.79
3	岩手	73.25	72.42	74.07	74.46	73.72	75.19	74.46	73.68	75.24	74.06	73.61	74.51
4	宮城	73.78	73.03	74.54	74.25	73.59	74.92	74.43	73.76	75.11	74.15	73.75	74.56
5	秋田	73.99	73.20	74.77	75.43	74.76	76.10	74.53	73.80	75.27	74.65	74.23	75.07
6	山形	73.87	73.09	74.64	74.27	73.57	74.97	75.06	74.34	75.77	74.40	73.98	74.82
7	福島	74.09	73.33	74.85	73.96	73.24	74.67	75.05	74.36	75.74	74.37	73.95	74.78
8	茨城	74.62	73.82	75.43	75.26	74.55	75.96	75.52	74.81	76.24	75.13	74.70	75.56
9	栃木	74.86	74.11	75.61	74.83	74.13	75.53	75.73	75.02	76.43	75.14	74.73	75.55
10	群馬	75.27	74.48	76.06	75.27	74.54	75.99	75.20	74.44	75.95	75.25	74.81	75.68
11	埼玉	73.07	72.19	73.94	74.12	73.36	74.88	74.67	73.89	75.44	73.95	73.49	74.42
12	千葉	73.53	72.45	74.61	74.59	73.68	75.50	75.17	74.24	76.09	74.43	73.87	74.99
13	東京	72.88	72.14	73.61	73.59	72.93	74.24	74.24	73.54	74.93	73.57	73.17	73.97
14	神奈川	74.36	73.57	75.16	74.75	74.06	75.44	74.63	73.94	75.33	74.58	74.16	75.00
15	新潟	73.77	73.01	74.52	74.79	74.16	75.42	75.44	74.81	76.08	74.67	74.28	75.06
16	富山	74.36	73.58	75.15	74.76	74.02	75.49	75.77	75.06	76.49	74.96	74.53	75.39
17	石川	74.54	73.62	75.45	74.66	73.90	75.42	75.18	74.42	75.94	74.79	74.32	75.26
18	福井	74.49	73.68	75.31	75.09	74.36	75.83	75.26	74.52	76.00	74.95	74.51	75.39
19	山梨	74.47	73.61	75.32	75.78	74.97	76.59	76.22	75.39	77.04	75.49	75.01	75.97
20	長野	74.00	73.20	74.81	74.73	73.96	75.50	74.72	73.94	75.50	74.48	74.03	74.94
21	岐阜	74.15	73.38	74.91	74.83	74.12	75.55	75.65	74.95	76.36	74.88	74.46	75.30
22	静岡	75.32	74.62	76.01	75.61	75.00	76.22	75.37	74.74	75.99	75.43	75.06	75.81
23	愛知	74.93	74.18	75.68	74.65	73.98	75.32	76.32	75.63	77.01	75.30	74.89	75.71
24	三重	73.63	72.82	74.44	75.13	74.37	75.88	76.30	75.57	77.04	75.02	74.58	75.46
25	滋賀	72.37	71.44	73.29	73.75	72.93	74.57	74.07	73.19	74.95	73.40	72.89	73.90
26	京都	73.50	72.61	74.40	73.11	72.31	73.92	73.97	73.06	74.88	73.53	73.02	74.03
27	大阪	72.55	71.78	73.33	72.49	71.79	73.20	74.46	73.82	75.09	73.17	72.76	73.58
28	兵庫	73.09	72.32	73.85	73.37	72.66	74.08	74.23	73.54	74.92	73.56	73.15	73.98
29	奈良	72.93	71.99	73.87	74.53	73.71	75.35	74.10	73.21	74.99	73.85	73.34	74.36
30	和歌山	73.41	72.59	74.23	74.33	73.52	75.14	74.42	73.60	75.24	74.05	73.58	74.52
31	鳥取	73.24	72.38	74.09	74.48	73.68	75.27	74.14	73.32	74.96	73.95	73.48	74.43
32	島根	74.64	73.85	75.43	73.80	73.03	74.57	75.74	74.97	76.51	74.73	74.28	75.18
33	岡山	73.48	72.68	74.29	73.83	73.08	74.58	75.09	74.38	75.80	74.13	73.70	74.57
34	広島	72.49	71.59	73.39	72.84	72.04	73.64	73.62	72.83	74.41	72.98	72.50	73.46
35	山口	73.71	72.86	74.55	75.23	74.47	75.99	75.18	74.39	75.96	74.71	74.25	75.17
36	徳島	72.73	71.83	73.64	73.44	72.62	74.27	74.04	73.26	74.83	73.40	72.92	73.89
37	香川	72.76	71.91	73.61	73.62	72.86	74.39	74.83	74.09	75.58	73.74	73.28	74.19
38	愛媛	73.89	73.02	74.75	73.83	73.09	74.58	74.59	73.85	75.33	74.10	73.65	74.56
39	高知	73.11	72.18	74.05	74.31	73.50	75.12	75.17	74.31	76.04	74.20	73.69	74.70
40	福岡	72.72	72.00	73.45	74.15	73.50	74.81	74.66	73.99	75.33	73.84	73.45	74.24
41	佐賀	73.64	72.82	74.46	74.19	73.43	74.96	75.07	74.34	75.80	74.30	73.85	74.75
42	長崎	73.05	72.19	73.91	73.62	72.86	74.38	74.71	73.94	75.48	73.79	73.33	74.25
43	熊本	73.84	73.02	74.66	74.40	73.69	75.11				74.41	73.86	74.96
44	大分	73.19	72.30	74.09	75.01	74.21	75.82	75.38	74.59	76.16	74.53	74.05	75.01
45	宮崎	74.62	73.72	75.51	75.37	74.60	76.13	74.93	74.15	75.71	74.97	74.50	75.44
46	鹿児島	74.51	73.70	75.31	74.52	73.73	75.31	75.51	74.71	76.31	74.85	74.39	75.31
47	沖縄	74.86	73.89	75.82	74.34	73.50	75.17	75.46	74.53	76.39	74.89	74.36	75.41

基礎資料として、健康情報は国民生活基礎調査を、死亡情報は人口動態統計を用いた。

2016年の健康情報は、国民生活基礎調査が熊本地震により熊本県を調査していないため、熊本県が含まれていない。

(2010, 2013, 2016年の平均のために算出した熊本県の2016年の推定値)
 = (熊本県の2013年の推定値) × (全国の2016年の推定値 : 74.79) / (全国の2013年の推定値 : 74.21)

表2-1-3 「日常生活に制限のある期間の平均」、男性
 : 2010・2013・2016年における都道府県の推定値と信頼区間

表1-4

都道府県 番号	都道府県	2010年			2013年			2016年			2010, 2013, 2016年の平均		
		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間	
1	北海道	9.24	8.45	10.02	8.80	8.14	9.45	8.37	7.69	9.05	8.80	8.39	9.21
2	青森	8.36	7.67	9.04	7.80	7.24	8.37	7.29	6.70	7.88	7.82	7.46	8.17
3	岩手	9.14	8.45	9.82	8.48	7.85	9.10	8.10	7.46	8.75	8.57	8.20	8.95
4	宮城	9.34	8.68	10.01	8.79	8.24	9.35	8.80	8.23	9.38	8.98	8.63	9.32
5	秋田	7.79	7.14	8.45	8.09	7.52	8.67	8.40	7.80	9.00	8.09	7.74	8.45
6	山形	9.19	8.54	9.83	8.49	7.91	9.08	7.97	7.35	8.59	8.55	8.19	8.91
7	福島	8.95	8.26	9.64	8.72	8.11	9.32	8.70	8.08	9.32	8.79	8.42	9.16
8	茨城	7.82	7.16	8.49	8.01	7.40	8.62	8.04	7.41	8.66	7.96	7.59	8.32
9	栃木	8.41	7.74	9.08	8.52	7.91	9.14	8.18	7.53	8.82	8.37	8.00	8.74
10	群馬	8.39	7.71	9.07	8.12	7.50	8.73	8.55	7.92	9.19	8.35	7.98	8.73
11	埼玉	9.04	8.30	9.79	8.97	8.30	9.65	8.03	7.38	8.67	8.68	8.28	9.08
12	千葉	8.33	7.45	9.21	8.83	8.07	9.58	8.81	8.04	9.58	8.66	8.19	9.12
13	東京	9.88	9.24	10.53	9.78	9.15	10.40	9.36	8.75	9.98	9.67	9.31	10.04
14	神奈川	9.46	8.79	10.12	9.32	8.73	9.92	9.34	8.76	9.91	9.37	9.02	9.73
15	新潟	9.59	8.95	10.22	8.71	8.17	9.25	8.34	7.79	8.89	8.88	8.55	9.21
16	富山	9.10	8.43	9.77	9.20	8.54	9.85	8.36	7.74	8.98	8.89	8.51	9.26
17	石川	8.65	7.87	9.42	8.68	7.99	9.38	8.41	7.76	9.05	8.58	8.17	8.99
18	福井	9.41	8.69	10.13	8.94	8.30	9.59	8.90	8.27	9.54	9.08	8.70	9.47
19	山梨	8.39	7.70	9.07	8.17	7.49	8.84	8.08	7.38	8.79	8.21	7.82	8.61
20	長野	9.81	9.11	10.52	9.82	9.14	10.51	9.84	9.15	10.53	9.82	9.42	10.22
21	岐阜	9.11	8.43	9.80	9.10	8.46	9.73	8.37	7.75	8.98	8.86	8.49	9.23
22	静岡	8.35	7.77	8.93	8.25	7.74	8.76	8.58	8.04	9.12	8.39	8.08	8.71
23	愛知	8.04	7.42	8.67	8.87	8.28	9.47	8.37	7.77	8.96	8.43	8.08	8.78
24	三重	9.00	8.28	9.72	8.41	7.75	9.06	9.32	8.62	10.02	8.91	8.51	9.31
25	滋賀	10.01	9.23	10.79	10.06	9.33	10.79	9.65	8.92	10.38	9.91	9.48	10.34
26	京都	9.89	9.08	10.71	10.65	9.90	11.40	9.89	9.08	10.70	10.14	9.69	10.60
27	大阪	9.68	9.00	10.35	9.27	8.65	9.88	9.08	8.51	9.65	9.34	8.98	9.70
28	兵庫	9.71	9.01	10.42	9.76	9.12	10.41	9.15	8.56	9.75	9.54	9.16	9.92
29	奈良	9.85	9.03	10.67	9.56	8.80	10.32	10.45	9.64	11.26	9.95	9.49	10.41
30	和歌山	8.65	7.94	9.36	8.10	7.39	8.82	8.58	7.89	9.27	8.44	8.04	8.85
31	鳥取	9.05	8.32	9.77	8.44	7.78	9.10	8.62	7.95	9.29	8.70	8.31	9.10
32	島根	9.09	8.40	9.77	9.03	8.40	9.66	9.42	8.73	10.12	9.18	8.79	9.57
33	岡山	10.15	9.42	10.88	9.35	8.68	10.01	9.64	9.01	10.28	9.71	9.32	10.10
34	広島	9.75	8.98	10.52	9.53	8.87	10.19	9.32	8.62	10.01	9.53	9.12	9.94
35	山口	8.57	7.83	9.30	8.31	7.61	9.01	8.36	7.69	9.03	8.41	8.01	8.82
36	徳島	9.56	8.81	10.31	9.26	8.53	9.99	9.37	8.67	10.07	9.40	8.98	9.82
37	香川	9.91	9.18	10.64	9.53	8.85	10.21	8.90	8.27	9.53	9.45	9.05	9.84
38	愛媛	9.60	8.88	10.32	8.89	8.23	9.54	8.89	8.19	9.59	9.13	8.73	9.53
39	高知	9.83	9.03	10.62	9.74	9.01	10.47	8.67	7.87	9.47	9.41	8.97	9.86
40	福岡	9.69	9.05	10.33	9.23	8.62	9.84	9.23	8.62	9.84	9.38	9.03	9.74
41	佐賀	8.99	8.31	9.66	9.04	8.37	9.70	9.14	8.49	9.80	9.06	8.67	9.44
42	長崎	9.75	9.02	10.48	8.64	8.01	9.28	8.87	8.21	9.53	9.09	8.70	9.48
43	熊本	9.75	9.02	10.48	9.18	8.54	9.83				9.31	8.82	9.80
44	大分	10.30	9.48	11.11	8.83	8.13	9.53	9.44	8.72	10.17	9.52	9.09	9.96
45	宮崎	8.70	7.93	9.47	8.07	7.43	8.70	8.16	7.53	8.78	8.31	7.92	8.70
46	鹿児島	8.09	7.37	8.80	7.96	7.31	8.62	7.79	7.07	8.51	7.95	7.54	8.35
47	沖縄	8.61	7.79	9.42	7.87	7.20	8.53	8.21	7.46	8.96	8.23	7.80	8.66

基礎資料として、健康情報は国民生活基礎調査を、死亡情報は人口動態統計を用いた。

2016年の健康情報は、国民生活基礎調査が熊本地震により熊本県を調査していないため、熊本県が含まれていない。

(2010, 2013, 2016年の平均のために算出した熊本県の2016年の推定値)
 = (熊本県の2013年の推定値) × (全国の2016年の推定値 : 8.84) / (全国の2013年の推定値 : 9.01)

表2-1-4 「日常生活に制限のある期間の平均」、女性
 : 2010・2013・2016年における都道府県の推定値と信頼区間

表1-5

都道府県 番号	都道府県	2010年			2013年			2016年			2010, 2013, 2016年の平均		
		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間	
1	北海道	13.37	12.48	14.27	12.16	11.40	12.93	13.23	12.43	14.02	12.92	12.45	13.39
2	青森	12.11	11.33	12.89	10.81	10.18	11.45	10.92	10.27	11.58	11.28	10.88	11.68
3	岩手	12.71	11.90	13.51	12.47	11.75	13.18	11.90	11.15	12.65	12.36	11.92	12.80
4	宮城	12.69	11.95	13.43	12.70	12.06	13.35	12.94	12.28	13.60	12.78	12.38	13.17
5	秋田	12.09	11.34	12.84	10.89	10.26	11.52	11.72	11.04	12.41	11.57	11.17	11.97
6	山形	12.57	11.82	13.31	12.13	11.47	12.79	11.89	11.20	12.57	12.20	11.79	12.60
7	福島	12.08	11.34	12.83	12.54	11.84	13.24	11.27	10.60	11.94	11.96	11.56	12.37
8	茨城	11.22	10.43	12.01	10.68	9.99	11.36	10.72	10.02	11.42	10.87	10.45	11.29
9	栃木	10.87	10.14	11.61	11.06	10.38	11.75	10.45	9.76	11.14	10.79	10.39	11.20
10	群馬	10.61	9.84	11.39	10.95	10.24	11.66	11.71	10.97	12.45	11.09	10.66	11.52
11	埼玉	12.86	11.99	13.73	12.04	11.28	12.80	12.28	11.51	13.06	12.39	11.93	12.86
12	千葉	12.70	11.62	13.77	12.12	11.21	13.03	12.15	11.23	13.07	12.32	11.76	12.88
13	東京	13.56	12.83	14.29	13.23	12.58	13.88	13.35	12.66	14.04	13.38	12.98	13.78
14	神奈川	12.38	11.59	13.17	12.34	11.65	13.02	12.83	12.14	13.52	12.52	12.10	12.93
15	新潟	13.24	12.50	13.97	11.83	11.21	12.44	11.83	11.20	12.45	12.30	11.92	12.68
16	富山	12.41	11.65	13.16	12.31	11.60	13.02	11.65	10.97	12.33	12.12	11.71	12.54
17	石川	12.27	11.38	13.17	12.18	11.44	12.91	12.15	11.41	12.89	12.20	11.74	12.66
18	福井	12.49	11.71	13.26	12.33	11.63	13.04	12.10	11.40	12.80	12.31	11.89	12.73
19	山梨	12.16	11.33	12.98	11.02	10.25	11.80	11.11	10.33	11.90	11.43	10.97	11.89
20	長野	13.23	12.44	14.03	12.72	11.96	13.47	12.97	12.21	13.74	12.97	12.53	13.42
21	岐阜	12.16	11.41	12.92	11.55	10.85	12.25	11.20	10.51	11.89	11.64	11.22	12.05
22	静岡	10.90	10.21	11.58	11.09	10.49	11.68	11.95	11.33	12.56	11.31	10.95	11.68
23	愛知	11.32	10.57	12.07	11.76	11.09	12.43	10.67	9.99	11.36	11.25	10.84	11.66
24	三重	12.52	11.72	13.32	11.33	10.59	12.07	10.94	10.22	11.66	11.60	11.16	12.03
25	滋賀	14.38	13.47	15.29	13.58	12.77	14.39	13.84	12.97	14.70	13.93	13.44	14.43
26	京都	13.07	12.19	13.96	13.67	12.87	14.47	13.61	12.71	14.51	13.45	12.95	13.95
27	大阪	13.35	12.57	14.12	13.69	12.99	14.39	12.56	11.92	13.19	13.20	12.79	13.61
28	兵庫	13.00	12.24	13.76	13.15	12.45	13.86	13.10	12.42	13.79	13.08	12.67	13.50
29	奈良	13.69	12.77	14.62	12.00	11.19	12.80	13.31	12.44	14.17	13.00	12.50	13.50
30	和歌山	12.26	11.47	13.05	11.48	10.70	12.27	11.87	11.09	12.65	11.87	11.42	12.32
31	鳥取	12.84	12.05	13.63	12.59	11.84	13.34	13.17	12.40	13.93	12.87	12.42	13.31
32	島根	12.40	11.65	13.15	13.05	12.32	13.77	11.70	10.98	12.43	12.38	11.96	12.81
33	岡山	13.42	12.62	14.21	12.89	12.15	13.62	12.66	11.97	13.36	12.99	12.56	13.42
34	広島	14.55	13.66	15.44	14.30	13.51	15.09	13.67	12.89	14.45	14.17	13.70	14.65
35	山口	12.35	11.53	13.17	11.29	10.55	12.03	11.66	10.91	12.42	11.77	11.32	12.21
36	徳島	13.54	12.67	14.41	12.69	11.91	13.48	12.56	11.83	13.30	12.93	12.47	13.39
37	香川	13.54	12.73	14.36	12.92	12.19	13.65	12.23	11.51	12.95	12.90	12.46	13.33
38	愛媛	12.77	11.92	13.62	12.50	11.77	13.22	12.24	11.52	12.95	12.50	12.06	12.95
39	高知	13.45	12.55	14.35	12.14	11.37	12.91	11.66	10.83	12.48	12.42	11.94	12.90
40	福岡	13.77	13.05	14.49	12.53	11.87	13.18	12.66	12.00	13.33	12.99	12.59	13.38
41	佐賀	12.96	12.18	13.75	12.32	11.59	13.05	11.97	11.27	12.66	12.42	11.99	12.84
42	長崎	13.27	12.43	14.12	12.77	12.03	13.50	12.27	11.53	13.02	12.77	12.32	13.22
43	熊本	13.29	12.49	14.10	12.95	12.26	13.64				13.04	12.51	13.57
44	大分	13.89	13.01	14.76	12.12	11.34	12.90	12.16	11.40	12.92	12.72	12.26	13.19
45	宮崎	12.12	11.25	12.99	11.64	10.90	12.37	11.99	11.24	12.74	11.92	11.46	12.37
46	鹿児島	11.83	11.04	12.62	11.92	11.15	12.69	11.28	10.50	12.06	11.68	11.23	12.13
47	沖縄	12.04	11.09	12.99	12.87	12.05	13.69	12.16	11.25	13.07	12.36	11.84	12.87

基礎資料として、健康情報は国民生活基礎調査を、死亡情報は人口動態統計を用いた。

2016年の健康情報は、国民生活基礎調査が熊本地震により熊本県を調査していないため、熊本県が含まれていない。

(2010, 2013, 2016年の平均のために算出した熊本県の2016年の推定値)
 = (熊本県の2013年の推定値) × (全国の2016年の推定値 : 12.34) / (全国の2013年の推定値 : 12.40)

(男性)

(参考)

2010

2013

2016

2010,2013,2016の平均値

65.00 70.00

65.00 70.00

65.00 70.00

65.00 70.00

順位	都道府県	2010	順位	都道府県	2013	順位	都道府県	2016	順位	都道府県	2010,2013,2016の平均値
1	愛知	71.74	1	山梨	72.52	1	山梨	73.21	1	山梨	72.31
2	静岡	71.68	2	沖繩	72.14	2	埼玉	73.10	2	愛知	72.15
3	千葉	71.62	3	静岡	72.13	3	愛知	73.06	2	静岡	72.15
4	茨城	71.32	4	石川	72.02	4	岐阜	72.89	4	千葉	71.93
5	山梨	71.20	5	宮城	71.99	5	石川	72.67	4	石川	71.93
6	長野	71.17	6	福井	71.97	6	静岡	72.63	6	福井	71.84
7	鹿児島	71.14	7	千葉	71.80	7	山形	72.61	7	茨城	71.83
8	福井	71.11	8	宮崎	71.75	8	富山	72.58	8	岐阜	71.74
9	石川	71.10	8	熊本	71.75	9	茨城	72.50	9	埼玉	71.72
10	群馬	71.07	10	三重	71.68	10	福井	72.45	10	熊本	71.68
11	宮崎	71.06	11	茨城	71.66	10	新潟	72.45	10	鹿児島	71.68
12	神奈川	70.90	12	愛知	71.65	12	宮城	72.39	12	沖繩	71.64
13	岐阜	70.89	13	群馬	71.64	13	千葉	72.37	13	宮崎	71.62
14	沖繩	70.81	14	鹿児島	71.58	13	香川	72.37	14	宮城	71.59
15	山形	70.78	15	神奈川	71.57	15	鹿児島	72.31	14	群馬	71.59
16	栃木	70.73	16	大分	71.56	16	神奈川	72.30	14	神奈川	71.59
16	三重	70.73	17	新潟	71.47	16	滋賀	72.30	17	山形	71.58
18	埼玉	70.67	18	長野	71.45	18	山口	72.18	17	長野	71.58
18	滋賀	70.67	19	岐阜	71.44	19	栃木	72.12	19	三重	71.40
20	富山	70.63	20	和歌山	71.43	20	長野	72.11	20	富山	71.39
21	熊本	70.58	21	埼玉	71.39	21	兵庫	72.08	21	栃木	71.34
22	山口	70.47	22	山形	71.34	22	群馬	72.07	22	滋賀	71.31
23	秋田	70.46	23	栃木	71.17	23	宮崎	72.05	23	新潟	71.28
24	島根	70.45	24	佐賀	71.15	24	東京	72.00	24	山口	71.25
25	和歌山	70.41	25	北海道	71.11	25	沖繩	71.98	25	和歌山	71.07
26	宮城	70.40	26	岡山	71.10	25	北海道	71.98	26	島根	71.04
26	京都	70.40	27	山口	71.09	27	広島	71.97	26	北海道	71.04
28	奈良	70.38	28	奈良	71.04	28	岩手	71.85	26	広島	71.04
29	佐賀	70.34	29	長崎	71.03	28	京都	71.85	29	佐賀	71.03
30	広島	70.22	30	島根	70.97	30	長崎	71.83	30	香川	70.98
31	鳥取	70.04	31	滋賀	70.95	31	三重	71.79	30	大分	70.98
32	北海道	70.03	31	富山	70.95	32	島根	71.71	32	奈良	70.94
33	東京	69.99	33	広島	70.93	33	鳥取	71.69	33	東京	70.92
34	福島	69.97	34	鳥取	70.87	34	青森	71.64	34	兵庫	70.88
35	兵庫	69.95	35	福岡	70.85	35	佐賀	71.60	35	鳥取	70.87
36	新潟	69.91	36	愛媛	70.77	36	大分	71.54	36	京都	70.82
37	徳島	69.90	37	東京	70.76	36	岡山	71.54	37	秋田	70.79
38	香川	69.86	38	香川	70.72	36	福島	71.54	38	岡山	70.77
39	大分	69.85	39	秋田	70.71	39	大阪	71.50	39	福島	70.73
40	福岡	69.67	40	岩手	70.68	40	福岡	71.49	40	福岡	70.67
41	岡山	69.66	41	福島	70.67	41	奈良	71.39	40	長崎	70.67
42	愛媛	69.63	42	兵庫	70.62	42	高知	71.37	42	岩手	70.65
43	岩手	69.43	43	大阪	70.46	43	和歌山	71.36	43	愛媛	70.58
44	大阪	69.39	44	青森	70.29	44	徳島	71.34	44	大阪	70.45
45	長崎	69.14	45	京都	70.21	45	愛媛	71.33	45	徳島	70.36
46	高知	69.12	46	高知	69.99	46	秋田	71.21	46	青森	70.29
47	青森	68.95	47	徳島	69.85	46	熊本	(調査なし)	47	高知	70.16

(女性)

2010

2013

2016

(参考)

2010,2013,2016の平均値

68.00 73.00

68.00 73.00

68.00 73.00 78.00

68.00 73.00

2010	2013	2016	(参考)
1 静岡 75.32	1 山梨 75.78	1 愛知 76.32	1 山梨 75.49
2 群馬 75.27	2 静岡 75.61	2 三重 76.30	2 静岡 75.43
3 愛知 74.93	3 秋田 75.43	3 山梨 76.22	3 愛知 75.30
4 栃木 74.86	4 宮崎 75.37	4 富山 75.77	4 群馬 75.25
4 沖縄 74.86	5 群馬 75.27	5 島根 75.74	5 栃木 75.14
6 島根 74.64	6 茨城 75.26	6 栃木 75.73	6 茨城 75.13
7 茨城 74.62	7 山口 75.23	7 岐阜 75.65	7 三重 75.02
7 宮崎 74.62	8 三重 75.13	8 茨城 75.52	8 宮崎 74.97
9 石川 74.54	9 福井 75.09	9 鹿児島 75.51	9 富山 74.96
10 鹿児島 74.51	10 大分 75.01	10 沖縄 75.46	10 福井 74.95
11 福井 74.49	11 栃木 74.83	11 新潟 75.44	11 沖縄 74.89
12 山梨 74.47	11 岐阜 74.83	12 大分 75.38	12 岐阜 74.88
13 神奈川 74.36	13 新潟 74.79	13 静岡 75.37	13 鹿児島 74.85
13 富山 74.36	14 富山 74.76	14 福井 75.26	14 石川 74.79
15 岐阜 74.15	15 神奈川 74.75	15 群馬 75.20	15 島根 74.73
16 福島 74.09	16 長野 74.73	16 山口 75.18	16 山口 74.71
17 長野 74.00	17 石川 74.66	16 石川 75.18	17 新潟 74.67
18 秋田 73.99	18 愛知 74.65	18 千葉 75.17	18 秋田 74.65
19 愛媛 73.89	19 青森 74.64	18 高知 75.17	19 神奈川 74.58
20 山形 73.87	20 千葉 74.59	20 青森 75.14	20 大分 74.53
21 熊本 73.84	21 奈良 74.53	21 岡山 75.09	21 長野 74.48
22 宮城 73.78	22 鹿児島 74.52	22 佐賀 75.07	22 千葉 74.43
23 新潟 73.77	23 鳥取 74.48	23 山形 75.06	23 熊本 74.41
24 山口 73.71	24 岩手 74.46	24 福島 75.05	24 山形 74.40
25 佐賀 73.64	25 熊本 74.40	25 宮崎 74.93	25 青森 74.37
26 三重 73.63	26 北海道 74.39	26 香川 74.83	25 福島 74.37
27 千葉 73.53	27 沖縄 74.34	27 長野 74.72	27 佐賀 74.30
28 京都 73.50	28 和歌山 74.33	28 長崎 74.71	28 高知 74.20
29 岡山 73.48	29 高知 74.31	29 埼玉 74.67	29 宮城 74.15
30 和歌山 73.41	30 山形 74.27	30 福岡 74.66	30 岡山 74.13
31 青森 73.34	31 宮城 74.25	31 神奈川 74.63	31 愛媛 74.10
32 岩手 73.25	32 佐賀 74.19	32 愛媛 74.59	32 岩手 74.06
33 鳥取 73.24	33 福岡 74.15	33 秋田 74.53	33 和歌山 74.05
34 北海道 73.19	34 埼玉 74.12	34 岩手 74.46	34 埼玉 73.95
34 大分 73.19	35 福島 73.96	34 大阪 74.46	34 鳥取 73.95
36 高知 73.11	36 岡山 73.83	36 宮城 74.43	36 奈良 73.85
37 兵庫 73.09	36 愛媛 73.83	37 和歌山 74.42	37 福岡 73.84
38 埼玉 73.07	38 島根 73.80	38 東京 74.24	38 長崎 73.79
39 長崎 73.05	39 滋賀 73.75	39 兵庫 74.23	39 北海道 73.78
40 奈良 72.93	40 香川 73.62	40 鳥取 74.14	40 香川 73.74
41 東京 72.88	40 長崎 73.62	41 奈良 74.10	41 東京 73.57
42 香川 72.76	42 東京 73.59	42 滋賀 74.07	42 兵庫 73.56
43 徳島 72.73	43 徳島 73.44	43 徳島 74.04	43 京都 73.53
44 福岡 72.72	44 兵庫 73.37	44 京都 73.97	44 徳島 73.40
45 大阪 72.55	45 京都 73.11	45 北海道 73.77	44 滋賀 73.40
46 広島 72.49	46 広島 72.84	46 広島 73.62	46 大阪 73.17
47 滋賀 72.37	47 大阪 72.49	47 熊本 (調査なし)	47 広島 72.98

様式 2

3. (3) 高齢者の健康

1 指標の状況

策定時の値と直近値を比較	項目数
a 改善している	3
b 変わらない	2
c 悪化している	
d 設定した指標又は把握方法が異なるため 評価困難	1

- 「介護保険サービス利用者の増加の抑制」については介護保険サービス利用者数だけを見れば抑制できていないように思われるが、第2号被保険者数に占める要介護（要支援）認定者の割合（認定率）は、2012年度（平成24年度）の17.6%に対し2015年（平成27年）3月末現在17.9%、2016年（平成28年）3月末現在17.9%と微増にとどまっている。第1号被保険者あたり給付費は平成24年の263千円に比べ平成27年度269千円と増加しているが、平成26年度270千円と比べ微減であり、変わらないと判断した。
- 「認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上」については2015年度（平成27年度）介護保険制度改正により、データソースである基本チェックリストを使用した介護予防事業は基本的には実施しない方針となり指標の把握ができなくなったため、今回の中間評価においては評価困難と判断した。（※今後の方針については「目標の整理」を参照。）
- ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している国民の割合は、2012年（平成24年）調査結果に比較して2.7倍に上昇している。しかし2016年（平成28年）結果において頭打ち傾向がある。
- 「低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合の増加の抑制」については、65歳以上を対象として低栄養傾向の高齢者の割合が、自然増により見込まれる割合（22%）を上回らないことを目標としており、2010年（平成22年）のベースライン値から2016年（平成28年）の直近の実績値に至るまで目標値を越えていない。そのため、現時点で目標を達成している。しかし年齢別にみた場合、85歳以上の高齢者のやせの割合は高く、高齢者人口のうち75歳以上高齢者の占める割合も今後増加が見込まれることに留意が必要である。

- 足腰に痛みのある高齢者（1,000人当たり）については、2010年（平成22年）に比べて2016年（平成28年）の直近の実績値は男性、女性とも低下しており、改善傾向にある。
- 高齢者の社会参加の割合は、ベースライン値（59.0%）から平成28年の直近値（58.3%）にかけて横ばいである。

2 関連した取組

- 被保険者が要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合において自立した日常生活を営む事ができるよう支援するため、地域支援事業を行ってきた。
- 2014年度（平成26年度）の「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号）」により、介護保険法（平成9年法律第123号）を改正し、地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、介護、医療、生活支援、介護予防を充実することとしている。
- 介護予防事業については、一次予防二次予防という枠組ではなく、高齢者の状態像にとらわれずに地域全体で介護予防を推進していくこととしている。
- ロコモティブシンドロームという言葉・概念の認知度を高めることによって、個々人の行動変容を目指している。日本整形外科学会が「ロコモ チャレンジ！協議会」を立ち上げ、公式WEBサイトや協賛企業の認定等により、ロコモティブシンドロームの広報啓発活動を推進している。
- 健康日本21（第2次）の開始に合わせ、「健康づくりのための身体活動基準2013」を2013年（平成25年）3月に策定するとともに、厚生労働省ウェブサイト等で公開している。
- 日本人の食事摂取基準（2015年版）策定検討会報告書において、低栄養と関連の深い虚弱の予防にも配慮し、高齢者（70歳以上）の目標とするBMIの範囲を提示した。また、高齢者のフレイルティやサルコペニア予防と栄養との関係についてもレビューし整理した。
- 介護保険制度の地域支援事業においては、全高齢者を対象とした健康・栄養教育、低栄養状態となるおそれの高い者等に対する栄養改善指導、地域における配食サービス等を、市町村が地域の実情に応じ、従前より実施している。
- 低栄養など高齢者の特性を踏まえた高齢者の保健指導のあり方について研究を実施。さらに2016年度（平成28年度）から低栄養など的高齢者の特性

に応じた保健事業をモデル実施し、2018年度（平成30年度）から高齢者の特性に応じた保健事業の全国展開を図る予定である。

- 地域高齢者等の配食の機会を通じた健康支援の推進のため、「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理の在り方検討会」を開催し、配食事業の栄養管理の在り方を整理し、2017年（平成29年）3月に事業者向けのガイドラインを公表した。今後は、このガイドラインを踏まえた配食サービスの利活用を促進するため、配食事業者向けと配食利用者向けの支援ツールを作成し、その支援ツールを広く公表する仕組みを整備する予定である。
- 平成29年「国民健康・栄養調査」において新たに高齢者の筋肉量を把握する等、高齢者の健康・栄養状態に関する実態を明らかにする予定である。
- 高齢者の足腰の痛みは、外出や身体活動を阻害するため、「健康づくりのための身体活動基準2013」において、65歳以上の基準を新たに設定するとともに、歩数の増加についても高齢者の目標を掲げ、取組を推進。
- さらに、スマート・ライフ・プロジェクトの中心となる4テーマ（運動、食生活、禁煙、健診・検診受診）の一つとして、『プラス10分の運動』を推進している。
- また、高齢者の地域の社会的な活動への参加は、活動を行う高齢者自身の生きがいや介護予防ともなるため、高齢者の方にも生活支援の担い手になってもらうことにより、社会的役割を果たすための取組を介護保険制度の地域支援事業において推進してきた。
- さらに、高齢者を含め、国民のボランティア活動への参加を促進する観点から、市町村社会福祉協議会等におけるボランティア活動に係る情報提供や人材育成等の取組を支援している。
- 社会参加の機会を増やすための方策として、就労の機会、ボランティアの機会、そして地域における活動の場の提供がある。
- 就労の機会に関しては平成24年に高年齢者雇用安定法が改正され、原則として65歳まで働ける仕組み導入が企業に義務付けられている。また退職者の就業機会提供の場としてシルバー人材センターが位置づけられている。2017年（平成29年）の集計結果によると、「高年齢者雇用確保措置」実施済の企業（31人以上）は99.7%と、改正時の92.3%より増加している。（参照：参考資料グラフ1）
- 厚生労働省「国民健康・栄養調査」では、ボランティア活動に関する独立した質問がないため、その現状値は不明である。一般介護予防事業：地域介護予防活動支援事業として、介護予防に関するボランティアの育成が行われており、65歳以上の高齢者も含まれている。平成27年には、累積育成人数37,783人中、65歳以上はその38.5%を占めている。

- 地域における活動に関しては、介護保険法に基づく、介護予防・日常生活支援総合事業において、高齢者に社会参加の場だけではなく社会的役割を提供する取り組みが推進されてきた。通いの場に関しては、実際に事業の一部として全国で開始された 2013 年（平成 25 年）の 43,154 箇所（1,084 市町村）から増加し、2015 年（平成 27 年）の集計結果では、通いの場の数は全国で 70,134 箇所（1,412 市町村）となった。65 歳以上の人口 1,000 対では 139（2013 年）、214（2015 年）である（65 歳以上人口は住民基本台帳人口に基づく）。（参照：参考資料グラフ 2）

3 今後の課題

介護保険サービス利用者の増加の抑制について認定率は微増にとどまっているが、高齢者の増加に伴いサービス利用者が増えてくることは容易に想像できる。目標達成のためには、比較的軽度の利用者の抑制、すなわち高齢者の自立の維持が鍵となってくると思われる。2014 年度（平成 26 年度）に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成 26 年法律第 83 号）」により、介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）を改正し、地高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるように平地域包括ケアシステムの構築が進められている。これにより、地域全体での介護予防の推進に期待する。

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している国民の割合はベースライン値からみると 3 倍近くの認知率となっており改善していたがここ 2 年は頭打ちである。若年層にあまり浸透していないと思われ今後さらなる取り組みが必要である。日本整形外科学会が「ロコモチャレンジ！協議会」を立ち上げ、公式 WEB サイトや協賛企業の認定等により、ロコモティブシンドロームの広報啓発活動を推進している。さらに、同学会より近年ロコモの臨床判断値の提案がなされており、エビデンスに基づいた予防方法の開発やプロモーション活動に期待する。

低栄養傾向（BMI20 以下）の高齢者の割合の増加の抑制について、低栄養傾向の高齢者の割合は 2010 年度（平成 22 年度）からすでに目標値 22%を下回って 17.4%であり、直近値でも 17.9%とこの 5 年間すべてが目標値を下回っているため目標達成していると考えられる。しかし 75 歳以上の高齢者になってくると低栄養傾向の割合が増えてくることから、引き続き低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制を図る必要がある。2018 年度（平成 30 年度）から実施される高齢者の特性に応じた保健事業の全国展開に期待する。

足腰に痛みのある高齢者の割合（1,000 人当たり）も改善傾向にある。「健康づくりのための身体活動基準 2013」において 65 歳以上の基準の新たな設定などの新たな取り組みがなされておりその効果に期待する。

高齢者の社会参加に関しては、効果評価に必要な参加者の割合の把握及び効果評価の必要性がある。対象となる全ての高齢者および参加者の性別や年齢に係るデータのおよび縦断的データの収集が必要である。把握の徹底と通いの場への参加による効果評価に必要な縦断データの収集が必要である。

評価シート 様式 2

4. 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

1 指標の状況

策定時の値と直近値を比較	項目数
a 改善している（目標達成済み）	4（1）
b 変わらない	1
c 悪化している	
d 設定した指標又は把握方法が異なるため 評価困難	

- 居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合はベースライン値に対して、2015年（平成27年）の直近実績値は増加している。2022年度（平成34年度）の目標値の達成が見込まれる。男女別で見ると、男性は女性よりも増加している。また、年齢別で見ると70歳以上を除いて全ての年齢層で改善傾向にある。
- 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている国民の割合は、2012年（平成24年）27.7%から直近値平成28年の27.8%と、横ばい傾向である。
- 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数は、開始後順調に参画企業数は増加し、2022年度（平成34年度）の目標値を既に達成している。
- 健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数は増加している。
- 健康格差対策に取り組む自治体は、ベースライン値より増加し、直近の実績値は40都道府県である。増加の程度がこれまでと同じと仮定した場合に、2018年（平成30年）を目途に目標値は達成されると見込まれる。

2 関連した取組

- 2012年（平成24年）に一部改正された地域保健法に基づく「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」にソーシャル・キャピタルが明記されており、都道府県・市町村レベルでの対策の必要性が追加されている。
- 厚生労働省科学研究「地域保健事業におけるソーシャルキャピタルの活用に関する研究」（研究代表者：藤原 佳典）において、ソーシャル・キャピ

タルの発展およびその利活用についての研究が行われた。その成果の一部として、「住民組織を通じたソーシャル・キャピタル醸成・活用にかかる手引き」および「ソーシャル・キャピタルを育てる・活かす！地域の健康作り実践マニュアル」を作成した。これらの資料を、都道府県・市町村を含む関連組織が利活用できるよう、厚生労働省ホームページに一般公開している。また、全国会議や研修会等を通して、全国の保健所長や保健師等へ研究成果の普及に努めた。

- 個人の主体的な介護予防の取り組みにつながる活動の将来及び普及のため、個人の取り組みに加えて企業・団体・自治体が一体となり、良好な社会環境の構築を推進することを目的とした「スマート・ライフ・プロジェクト」を推進している。
- スマート・ライフ・プロジェクトにおいて情報発信・広報戦略を展開している。
 - －メディア等を活用した効果的な広報戦略
 - －WEBサイトのコンテンツの制作・運用
 - －企業等及び国民向けの啓発ツール(ポスター、チラシ、アメニティ等)の作成
 - －普及啓発コンテンツの制作・運用
 - －「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマークの活用・展開
 - －禁煙週間や健康増進普及月間、女性の健康週間等での啓発普及イベントの実施
 - －関係団体等連携イベントの実施
 - －「いきいき健康大使」の活用
- スマート・ライフ・プロジェクトへの企業等の参画誘致や、参画企業等への取組のサポートを行っている。
- 2012年度(平成24年度)より「健康寿命をのばそう！アワード」の開催による好取組事例の表彰を行っている。2017年度(平成29年度)で第6回を迎えている。
- 「健康寿命をのばそう！サロン」の開催による、好取組事例の横展開を行っている。
- 健康格差対策に取り組む自治体についての現状把握を行った。
- 平成24年国民健康・栄養調査にて、1997年(平成9年)より5年ごとにやっている体格及び生活習慣に関する地域格差についての分析を行った。
- 厚生労働省のホームページにて、各都道府県の健康増進計画について国の示す項目と同一である内容及び都道府県独自の項目を一覧表で公開している。
- 平成28年国民健康・栄養調査では、拡大調査を実施し、BMI、野菜摂取量、食塩摂取量、歩数、現在習慣的に喫煙している者の割合(男性)の結果を都道府県別に公表した。これらの結果等も踏まえ、健康格差の要因分析を引き続き

行う必要がある。

3 今後の課題

「地域のつながりの強化」における現在の指標は「あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている」という質問の回答結果による。そのほかに既存の質問項目もあるため、今後これらの指標の妥当性と信頼性について検証を行う必要がある。

健康づくりを目的とした活動に主体的に関わる国民を増やすための取り組み内容のリスト化、及びそれぞれについてのプロセス・効果評価を行っていく。モニタリング指標とそれを算出するための調査の確定、およびそこから算出する指標を用いたモニタリングを行っていく必要がある

スマート・ライフ・プロジェクトに関しては、新たな参画企業等がどのような媒体で情報を取得したかを把握しながら、より効果的な参画企業数の増加を図る。また、WEBサイトや啓発ツール等による国民への正しい情報の提供を行う。実施する各イベントのメディア露出増加により国民への正しい情報の発信及び認知度の向上により、さらなる国民運動化を図る。

都道府県・市町村レベルでの健康格差対策のため、要因解明のための研究を推進する必要がある。都道府県レベルのみならず、市町村レベルでの格差把握のため、拡大調査が望まれる。健康格差対策取り組みに至っていない自治体に向けた支援の方策をたてる必要があり、また現在取り組みを行っている自治体においても、さらなる改善の障害となっている因子を究明することが必要である。

5. (6) 歯・口腔の健康

1 指標の状況

策定時の値と直近値を比較	項目数
a 改善している（目標達成済み）	3（1）
b 変わらない	1
c 悪化している	1
d 設定した指標又は把握方法が異なるため 評価困難	

- 60 歳代における咀嚼良好者の割合は、ベースライン値から増加していたが、直近の実績値では減少に転じている。現状のデータでは今後の予測が困難である。
- 歯の喪失防止の項目については、80 歳、60 歳、40 歳のすべての年齢で改善しており、その中でも 80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者の割合と 60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の割合は、ベースライン値から直近の実績値まで直線的に増加しており、目標をすでに達成している。
- 20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合は、ベースラインから直近の実績値まで減少しており、改善しているものの、40 歳代と 60 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合は増加しており、悪化している。
- 3 歳児のう蝕がない者の割合が 80%以上である都道府県数は、ベースライン値から増加している。直近の実績値は 26 都道府県であり、すでに目標を達成している。また、12 歳児の一人平均う歯数が 1.0 歯未満である都道府県数においても、ベースラインから増加しており、直近の実績値は 28 都道府県ですでに目標を達成している。
- 過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合は増加しており、改善している。

2 関連した取組

- 国では、2011 年（平成 23 年）に公布・施行された「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づき「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を策定し、歯科口腔保健の推進のための具体的な目標・計画を策定している。また、市区町村が行う歯周疾患検診に対し、健康増進事業により財政支援

を行っているほか、都道府県等が行う歯科疾患の予防に関する取組に対し、8020運動・口腔保健推進事業により財政支援を行っている。

- 自治体の取組について、歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県は47のうち43であり、取組は推進されている。
- 日本歯科医師会は当時の厚生省とともに、1989年（平成元年）より、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という8020（ハチマルニイマル）運動を開始しており、すべての年齢層での現在歯数の増加に取り組んでいる。また、ほとんどの都道府県でう蝕予防や歯周病予防のための啓発活動を継続してきている。
- 日本口腔衛生学会では、「今後のわが国における望ましいフッ化物応用への学術的支援」としてフッ化局所応用、及び水道水フッ化物添加法を推奨している。

3 今後の課題

乳幼児期・学齢期のう蝕歯数は減少傾向にあり、すべての年齢層での現在歯数は増加していることが確認できた。

乳幼児期・学齢期のう蝕有病状況については、改善傾向にある一方で、様々な研究において、社会経済的因子によってう蝕有病状況に健康格差が生じていることや、多数のう蝕を保有する者が増加していることなどの報告がある。さらに、一般的な疾患と比較して高い有病率であることから、集団全体のリスクを低減させるう蝕予防対策が重要である。

歯科疾患実態調査より、いずれのライフステージにおいてもう蝕有病者率は高い水準にあることに留意しつつ、継続的な歯科疾患予防に対する取組を推進することが必要である。

歯周病に関しては、平成28年度の具体的な指標は策定時に比較して悪化しているものの、それ以前は、状況は改善もしくは変わらない傾向にある。歯周病の予防については、日頃のセルフケアに加え専門的な指導や管理も必要なことから、健診の効率化等の工夫を図りつつ、定期的な歯科健診が普及するような取組が必要である。また、喫煙等の生活習慣が歯肉炎・歯周炎を引き起こす可能性もあることから、禁煙対策の推進の視点を含めて、歯周病予防への対策を進める必要がある。

歯周病の有病者率の増加については、歯周病検診のマニュアルが改訂され、歯周病の評価が見直されたことによる影響との指摘もあるため、新しい評価方法のもとでの有病者率の動向などについて、今後も注視する必要がある。

高齢期では、現在歯数の増加に伴い、歯周病だけでなくう蝕にも罹患する可能性が高まることから、現在歯が健全な状態や機能を維持するための取組

が必要である。

歯科疾患等の地域格差について、う蝕や歯周病および口腔機能の都道府県における詳細な地域差までは明らかにできていないことや、要因分析のためのデータが十分ではないことから、今後の検討課題と思われる。

また、ライフステージに応じた取組を進めるに当たり、国、都道府県、市区町村等それぞれの単位での、関係部局との連携した施策・取組の推進が求められる。